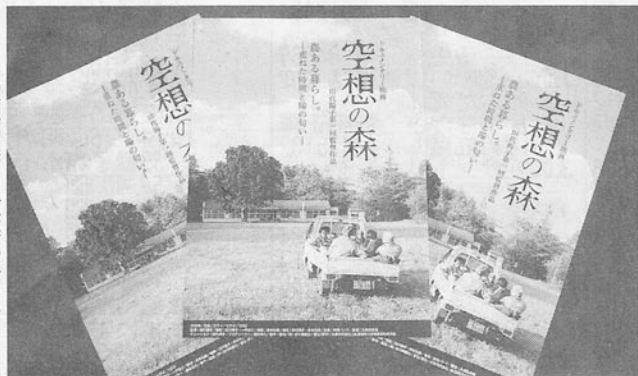


北海道で農業に取り組みながら子育てする家族らの姿を描いた田代陽子監督のドキュメンタリー映画「空想の森」上映会が12、13の両日、彦根市河原の社会福祉法人千歳会「久左のまちや」で開かれる。企画した実行委代表の奥田好香さん(57)＝彦根市橋向町＝は「子育て中のお母さんにぜひ見てほしい」と呼びかけている。

子育てママに贈る映画

空想の森 北海道の農家奮闘描く

奥田さんは元彦根市職員の保健師。同市などで30年以上にわたって子育ての指導を担当し、母親の相談に応じてきた。昨秋、大津市での上映会で作品に感動し、田代



「空想の森」上映会のチラシ

きょう、あす彦根で上映会

監督に申し出て実行委を設立。彦根市の花しょうぶ通り商店街「アートフェスタ勝負市」での上映会を決めた。

7年がかりの撮影という作品は、社会になじめない人や障害を持つ人らが働く農場が舞台。奥田さんが感銘を受けたシーンは、草取り中の母親に近づこうとほいほいする赤ちゃんと、それを待ち受ける主人公の姿で、土の上での子育ての風景に、都市の母親の抱える悩みを解決するヒントを感じたという。

上映は両日とも午前11時、午後3時からの2回。上映後に田代監督とのフリートークがある。料金は当日1500円で、中学生以下無料。チケットは、花しょうぶ通り商店街の戦国丸などで販売。問い合わせは奥田さん(0990・78007・4637)。